

九州地方では、過去より大規模かつ多様な災害により教訓を得て様々なことを学んできました。

一方で、災害の教訓は伝えにくく、また過去の災害に関する資料が継承されず、十分に活用されていない状況も見受けられます。

このため、九州地方において過去に発生した地震、津波、火山災害及び風水害に関する調査結果を平成24年より収録し、当協会ホームページの「九州災害履歴情報データベース」として継続的な公開を行っています。

### 九州災害履歴情報データベースの利用促進

令和5年度は、近年でも頻繁に発生している災害について、今後の更新に向けたデータベースの更新方針を整理するとともに、現状での更新用データを整理しました。

また、地域防災団体への追加の意見収集により、当データベースの紹介や防災活動への利活用に向けたニーズ確認などを行い、防災活動の現状や問題点などを整理したうえで、防災活動における当データベースの利活用推進に向けた課題を取りまとめました。

### 1. 利用展開に向けた意見収集

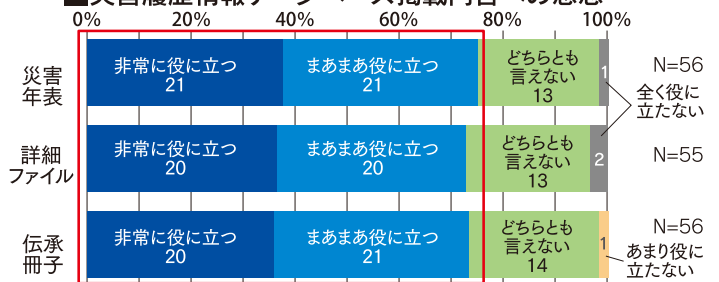
昨年度に引き続き、災害伝承活動にあたる方々にアンケート調査を行い、実際の活動状況を把握するとともに、当データベースに関する意見や今後の活用方法を検討しました。

当データベースでは「過去の災害状況がわかり参考になる」、伝承冊子では「子供から大人までわかるような内容が良い」など、7割以上で「役に立つ」というアンケート結果となりました。

#### ■対象団体とアンケート実施状況

	R5検討	R4検討	
	災害歴史を学ぶ会【佐賀県】	博多あん・あんリーダー会【福岡県】	防災士会九州ブロック支部【大分県】
事前ヒアリング	R5.10.2	R4.9.22	R4.10.21
アンケート	R5.10.5	R4.11.6～R4.12.10	R5.2.17
回答数	5件	35件	21件

#### ■災害履歴情報データベース掲載内容への感想



主要な掲載内容は、「役に立つ」という意見が7割以上

### 2. 伝承冊子の作成

昨年度の検討で作成した伝承冊子のレイアウトを基に、既往エピソードが無かった佐賀県と大分県を対象として、被災規模やエピソード性を踏まえた追加3件の伝承冊子を作成しました。

タイトル	地域
人助けのムクの木	大分県
有田の街並みを一変させた台風	佐賀県
悲しい伝説の残る小倉池	大分県



### 3. 今後の利用展開に向けて

今後も当データベースの利便性向上の観点から、継続的なデータベースの情報更新が望ましく、各地域で防災活動内容が異なることから、当伝承冊子を通して他地域の活動事例等を学ぶことにより、活動内容の幅が広がり実用性が高まると期待されます。